



本文へ 文字の大きさ 標準 拡大 色変更・音声読み上げ・ルビ振り

相談窓口 サイトマップ ENGLISH 検索

会見・報道・お知らせ	法務省の概要	試験・資格・採用	政策・審議会等	申請・手続	白書・統計
----------------------------	------------------------	--------------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------

[トップページ](#) > [政策・審議会等](#) > [省議・審議会等](#) > [過去の審議会等](#) > [過去のその他会議](#) > [難民問題に関する専門部会](#) > [難民問題に関する専門部会開催状況等](#) > 第9回難民問題に関する専門部会

第9回難民問題に関する専門部会会合：議事概要

- 日時 平成15年2月20日（木）午後1時30分～午後3時30分
- 場所 法務省小会議室
- 出席者（敬称略）
 - 難民問題に関する専門部会
横田洋三（部会長）、岩間陽子、讃井暢子、谷野作太郎、中嶋滋、疋田幸子
 - 法務省入国管理局
増田局長、四宮官房審議官、伊丹総務課長、川上審判課長、高宅参事官、亀卦川局付、佐々木難民認定室長、内田法務専門官
- 会議経過
 - 事務局から、難民認定制度等の改善策として本年1月から実施している、「難民不認定理由の明確化のための取組」及び成田空港に「入国・帰国案内所」を設けたことについて説明がされた。その説明に対して、総合案内所の表示は日本語と英語だけでなく他の言語も必要である、難民・英語以外では国連公用語が適当である等の意見が出された。
 - 事務局から、法改正の現状等について説明がされた。その説明に対して、中間報告について強い反発を受けたことはない、仮滞在の許可についてを基にそこまで踏み込んだことを歓迎する雰囲気がある、中間報告では特に本当の難民について配慮しようということを取り込んだが、その点を受け止めて対応しており、今後もその方向で審議を進め、国の政策に具体的に反映させていきたい等の報告及び意見が出された。
 - 事務局から、今後のスケジュールについて説明がされた。その説明に対して、不服申立てについては、他国の状況をきちんと調査する必要がある、英独仏の3か国について専門家に調査研究を委託することとなった、専門部会では、難民調査官の専従体制の強化についても求めたい、方向で政府も予算要求していることは評価できる等の意見が出された。
 - 事務局から、現行の異議申立制度について説明がされた。その説明に対して、異議申立制度については一般の制度との関係も含め議論すべき、調査と異議審査の独立性については、今後、他国の事例についての報告を聴きながら検討する必要があるが、決定権者の異同と独立性をどうみるか、下でどの形にまでもっていったら、異議申立ての本来の趣旨が生かせる制度となるのかといった点について専門部会として審議して答えを出したい等の意見が出された。
 - 部会長から、部会の審議状況について、議事概要を作成してはどうかという提案がなされ、事務局において作業を行い、次回会合で検討するの了承が得られた。
 - 専門部会メンバーから、日本政府の難民受入政策に関する説明が不足しており、日本政府は本当の難民であれば受け入れるという姿勢である説明すべきとの意見が出された。

会見・報道・お知らせ	法務省の概要	試験・資格・採用	政策・審議会等	申請・手続	白書・統計
大臣会見等 プレスリリース 法務省ソーシャルメディア公式アカウント 政府調達情報 主な法務省主催イベント その他のお知らせ	大臣・副大臣・政務官 法務省幹部一覧 組織案内 所管法令 国会提出法案など 法務省の沿革	司法試験 資格試験 採用試験 その他の採用情報	省議・審議会等 司法制度改革の推進 国民の基本的な権利の実現 刑事政策 出入国在留管理 国を当事者とする訴訟などの統一・一元的処理 第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議（京都コンGRESS） 政策評価等 パブリックコメント その他の政策・施策	情報公開・公文書管理 個人情報保護 行政手続の案内 法令適用事前確認手続 オンライン申請	白書・統計 予算・決算 パンフレット・ポスター 法務省だより 法務図書館 法令外国語 キッズ・ファミリー 法務資料 フォトギャラリー